

＼ ご存知ですか？ 東大和市。 ＼

WELCOME TO HOME TOWN



東大和市 出生率都内 No.1^{*}の秘密。

都心であることや、利便性の高さだけが、住みたい街の条件ですか？
都内出生率No.1の街、東大和市へ。

※東大和市は東京都内23区と26市の中で2015年～2019年の直近5年間での平均出生率がNo.1となります。
(町村部除く)参考:平成27年から令和元年までの「東京都人口動態統計年報」(東大和市調べ)

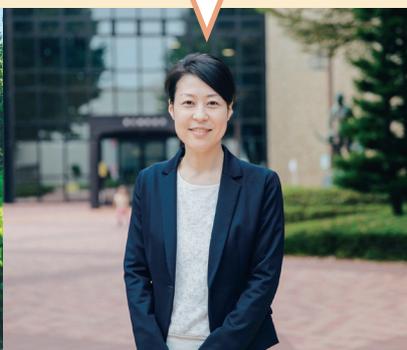
東京都区市部で唯一、 5年平均出生率が1.5を超えた、東大和市。

日本一子育てしやすいまちを目指して。

東大和市では、「日本一子育てしやすいまちづくり」のために、子ども・子育て支援施策を推進し、2015年と2017年の合計特殊出生率がそれぞれ1.67、1.59となり、東京23区および多摩地区26市中1位となりました。また、直近では常に上位に位置しています。その背景にはまちづくりのさまざまな取り組みが隠されています。

日本一子育てしやすいまちを目指しています！

東大和市役所 大塚さん



東大和市では、共働きのご家庭をサポートする子育て支援が充実しています。例えば、多摩地区で初めて実施した病児・病後児保育のお迎えサービスや小学生になると、学童以外に放課後子ども教室や児童館のランドセル来館事業などもあります。子どもの居場所がしっかり確保されているので、安心して働くことができますよ。

PICK UP! 東大和の子育て

病児・病後児保育



保育園から「子どもが熱を出した」と連絡がきたら、普通はすぐに帰らないと行けません。

でも、東大和市には、「病児・病後児保育のお迎えサービス」があるので大丈夫。保育士が直接保育園にお迎えに行き、小児科併設の保育室で仕事終わりまで手厚く保育してくれるんです。

保育コンサルジュ



「市役所に保育相談に行ったら色々な部署にたらい回しにされた・・・」そんな経験はありませんか？

東大和市では、単なる案内だけでなく、子育ての悩みが解決するまで、専門相談員が寄り添って“一緒に保育を考えていく”案内を心がけています。

保育施設の拡充



東大和市では、「日本一子育てしやすいまち」を目指し、待機児童の解消や子育て支援体制の拡充にむけて重点的に取り組んでいます。

保育施設の増改築や新規開設を計画的に進め、定員数の増加に努めるとともに、全国的に不足している保育士の確保に向け、保育士宿舎の借上などの支援も行っています。人と施設の両面から安心してお子様を預けることができる環境の実現を図っています。

ご存知ですか？ 東大和市。

東大和市と言ってもご存知無い方も多いかもかもしれません。



東京都の真ん中の北側、立川市の隣に位置し、市の面積は約13.4km²で豊島区とほぼ同じくらいの大きさ。23区で比べると18位、26市の中では17位です。しかしながら、公園や緑地、多摩湖の面積(みどり率)は市の約46.0%を占めており自然にふれる機会が多いことは大きな魅力です。

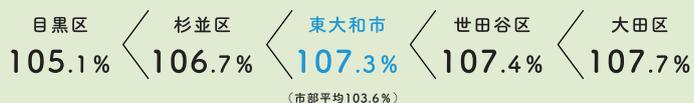


中でも市の北部に広がる多摩湖は3.1km²という圧巻の大きさ、一見の価値があります。その外周にはジョギングコースも整備され1周約12kmと体力づくりにも理想的。東大和市は“水辺の街”としての魅力もあるんですね。さらに多摩湖の北側には西武園うえんちや西武ドームなどアミューズメント・レジャー施設があります。

※西武園うえんち、西武ドームは市外の施設です。

選ばれてます、東大和市。

東大和市の人口増加率



東大和市の人口は2015年の調査で85,157人。2005年の調査では79,353人でしたから、日本の総人口が減少する中でも、年々人口が増えている珍しい市のひとつです。

豊かな自然と水辺の潤いに恵まれた街、東大和市。この街には現代の東京人が求めている住環境のもうひとつの答えがあるようです。

※出典：東京都 国勢調査「平成27年人口等基本集計結果」(2017年11月時点)

東大和市の人たちの声。



地域との関わりの中で成長できる素地があるんです。

東大和市立第四小学校 元校長 宇賀神先生



この辺りは、子どもたちを地域みんなで育てていこうという意識が強いです。小学校でも、お茶摘み体験やお囃子クラブなど地域の特色を活かした教育体験を数多く実施していますが、子どもたちは地元の大人と関わる中で社会性を学びながら成長しています。程よい大きさの市だからこそ、教育活動にも縦横のつながりが生まれやすいんでしょうね。地域のコミュニティに見守られながら、のびのびと子育てできる場所だと思います。

東大和の子育ては、お父さんも主役です！

東大和市立第四小学校 元PTA会長 原さん / おやじの会 会長 安部さん



東大和の子育てが楽しいのは、保護者同士の交流が盛んなことも大きな理由ですね。子育てはどうしても母親中心になりがちですが、父親だってコミュニティをつくって楽しもう！とPTAとは別に立ち上げたのが「おやじの会」。今はあちこちの小学校にあって、イベントを開催したり学校の管理を手伝ったりしていますが、誰よりも私たち自身が楽しんでますね。親子みんなが地域と関わり合いながら暮らせる街って、なかなか貴重ですよ。



安全、安心な地産地消の野菜で大きく育て。

やすじいの農園 園主 内野さん



東大和は空気や土が他の街とはちょっと違うんです。多摩湖から吹いてくる澄んだ空気、石が少ない肥沃な土のおかげで野菜がとってもおいしいんですよ。そのことを子どもたちにも知ってほしくて、農業体験をやってます。さつまいもや人参を掘りながら土のにおいや感触を知り、収穫したものを食べて味わうだけで自然に食育ができてしまいます。野菜嫌いの子がここにきて食べられるようになったと聞くと、やっぱり嬉しいですね。



手つかずの大自然が先生になってくれる。

元 cafe cotta オーナー 福山さん



なんといっても、東大和の良さは大自然の中で子どもが思い切り遊べること。多摩湖や狭山公園で走り回ったり、大きなカブトムシを見つけたりするのが子どもたちの日常なんです。そんな静かな環境ですが都心へのアクセスも良く、大きなスーパーもあって買い物しやすいので利便性も充分。当店のように、子連れで行って楽しめる場所も充実しています。子育てのハードルが低いからか、周囲でも子どもが2人以上というご家庭が多いですね。

みんなで子育てしているって実感できる街。

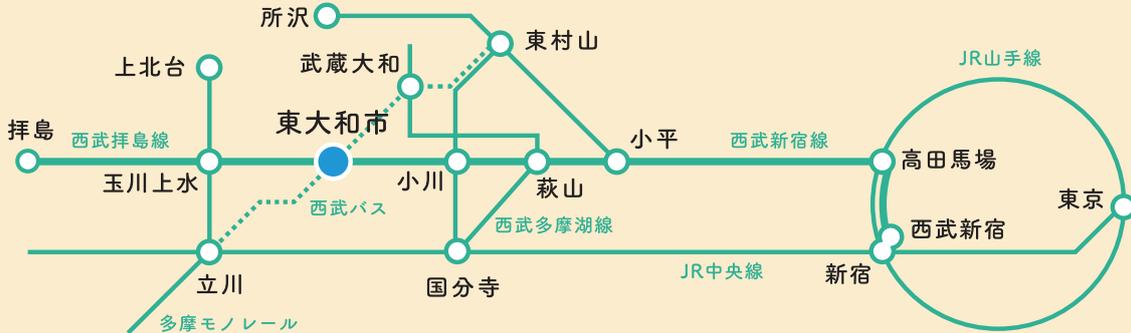
コミュニティ団体「ほっぺ@ひがしやまと」代表 佐野さん



「ママ・マルシェ」や市の保育付き講座など、東大和には子育て中のママが気軽に参加できるイベントがたくさんあります。子育てに行き詰まったり、孤独感を感じているママたちが外に出て、おしゃべりしながらリフレッシュできる場所を設けているんです。子どもが3人、4人いるママも多いので、経験談を聞いて2人目を産む不安がなくなったという声もよく聞きますね。仲間がいる心強さが、子育てをもっと楽しくしてくれますよ。

東大和市のアクセス

公共交通機関のアクセス状況を見てみますと西武新宿線に乗り入れしている西武拝島線が走行し、「高田馬場」駅や「西武新宿」駅まで直通で30分台。混雑も少なく、のんびりとした通勤アクセスが魅力です。



また西方を南北に多摩モノレールが走り、ららぽーとやグリーンスプリングスなどが誕生した立川エリアへ10分程度で行くことも可能です。都心通勤者が住宅を求めて集まる理由のひとつと言えます。

東大和市をもっと知る



東大和市観光マップ



おすすめスポットやイベント情報、東大和市の魅力を堪能できるウォーキングコース、多摩湖周辺道路のウォーキング&サイクリングコース等を掲載！お出かけに役立つものとなっています。



東大和市 デザインマンホール 設置マップ



東大和市の魅力あふれるスポットをテーマとして制作された、12種類の観光キャラクター「うまべえ」のデザインマンホール。そのマンホール設置場所を写真や地図で案内しています。

東大和市公式ホームページ



東大和市公式 LINE



東大和市公式 facebook



東大和市公式 Twitter



東大和と清瀬市で 「暮らす」「働く」人を紹介する インスタグラム マガジン

両市の魅力的な人にスポットを当て、等身大のまちの魅力を市民目線で発信しています！あなたの知らない、まちの魅力が見つかるかも？ぜひフォローをお願いします。



Instagram icon kitamaga



ブランド・メッセージ 「東京 ゆったり日和 東やまと」

東京の都市でありながら、ゆったりと落ち着いていて、子育てしやすく住みやすい、東大和の魅力・特長を表現しています。



東大和市観光キャラクター「うまべえ」

食の祭典「東大和市グルメコンテスト“うまかんべえ～祭”」を盛り上げるために生まれたキャラクター。「お糰」と「わんこ(犬)」がモチーフで大きなベロとま～るいしっぽがチャームポイント♪